

記入例

提出日

別記様式第3号（第10条関係）

〇〇年 10月 31日

（あて先）新潟市長

代表者 住所 **新潟市〇〇区△-□**

団体名 **〇〇地区コミュニティ協議会**

代表者 氏名 **新潟 一郎**

代表者電話番号 **025-〇〇〇-××××**

送付された「交付決定通知」
の日付、番号を記入

地域活動補助実績報告書

〇〇年△月△日付け新●●第△△△△号の2で交付決定を受けた補助事業が完了

したので、下記のとおり報告します。

記

事業の名称	地域のできるごみ減量！
事業完了年月日	〇〇年 10月 31日
補助金交付決定額	200,000 円 「交付決定通知」に記載のある決定額
補助金交付請求額 及びその算定方法	193,000 円 支出合計から千円未満を切り捨てた額 (補助対象経費の実績×補助率または交付決定額－概算払額)
情報の公表の内 容、方法及び時期	新潟市補助事業と記載したチラシを配布(5月22日～) コミ協だよりにも同様に開催案内を掲載(6月5日)
添付書類	<ul style="list-style-type: none">① 事業報告書② 収支決算書③ 領収書又はその写し④ その他市長が必要と認める書類 パンフレットなど、印刷物を作成した場合は資料として添付してください。研修・視察・シンポジウムなどの成果は、レポートや報告書にまとめて添付してください。

記入例

事業報告書

(1) 事業名	地域でできるごみ減量！
(2) 事業の実施期間	〇〇年5月10日～ 〇〇年10月31日
(3) 事業の実施内容	<p>ごみ問題に詳しい●●△△氏を招き、地域ぐるみで行われている生ごみ減量に関するテーマで講演をしていただいた。また、講演と併せて●●氏を交えて意見交換会を行った。</p> <p>講演会で教わったごみ減量化の方法をパンフレットにまとめ、各家庭に配布した。</p> <p>そのパンフレットを参考に、地域全体でごみ減量化に取り組んだ。</p> <p>日時:〇〇年7月10日(日) 18:00～ 場所:〇〇地域コミュニティセンター 参加人数:150人(一般120人,高校生以下30人)</p> <p>参加人数を明記</p> <p>【事業準備などの実施日】</p> <p>事業実施の流れなどを記入</p> <p>〇〇年5月15日(日) チラシ・パンフレット・パネル作成 5月22日(日) チラシ配布開始, コミ協だより作成 6月 5日(日) コミ協だよりへ掲載 7月10日(日) 講演会の開催 8月19日(月) パンフレットの配布開始, ごみ減量化の取り組みの開始 10月23日(日) 実績報告書の作成 10月31日(月) 実績報告書の提出</p>
(4) 事業による成果及び今後の課題	<p>この事業を行うことで得られた成果を記入</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">講演で生ごみ減量化の具体例を聞くことで、家庭で・地域でできる生ごみ減量化についてより興味を持つことができた。その後の意見交換会でも活発に発言があり、今後地域としての環境に対する意識のさらなる高まりが期待できる。講演会で教わったごみ減量化をまとめたパンフレットを各家庭に配布したことで、ごみ減量化に取り組むとともに、ごみステーションの悪臭対策にも効果があった。各家庭でパンフレットを参考に実践し、地域全体でごみ減量化に取り組むことで、地域環境の保全についても機運がさらに高まった。 <p>この事業を行う際に出てきた課題や、今後、さらなる展開を図る際の課題などを記入</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">講演会では具体的な例示はあったものの、実際に行うには難しそうな事例もあった。今後は意見交換会などを定期的に行い、一層地域住民の意識を高め、各家庭でより継続的にごみ減量化に取り組める仕掛けを検討したい。

記入例①

事業収入等がない場合

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	200,000	193,000	新潟市からの補助金 補助金請求額は千円未満を切り捨てた額です。
自己資金	5,650	870	コミ協一般会計より 交付決定額を超えた経費や補助金額から千円未満を切り捨てた額は自己負担となります。
合 計	205,650	193,870	支出の合計額と同額になります。

「予算額」欄には申請時の項目・額を記入する。

支出の合計額と同額になります。

記入例①

事業収入等がない場合

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

項 目	予算額	決算額	「事業収入等」の 充当先	摘 要
報償費	30,000	20,000		講師からの領収書 講師謝礼 @20,000円×1人
旅費	20,000	20,040		JR発行の領収書 講師旅費 20,040円 (19,520円(東京～新潟 新幹線利用)+ 520円(新潟市内バス利用))
消耗品費	35,250	31,830		講師からの領収書 コピー用紙 @ 420×4組 = 1,680円 スタッフ名札 @ 315×10人 = 3,150円 パネル作成9枚 27,000円
印刷製本費	95,000	95,000		講演会チラシ @ 10円×1,500枚 = 15,000円 ごみ減量化方法を記載したパンフレット @ 80円×1,000部 = 80,000円
通信費	800	0		支出なし
賃借料	9,000	9,000		会場使用料 7,000円 プロジェクター借上 2,000円
食糧費	15,600	18,000		飲み物 @ 120円×150人 (スタッフ, 講師分含む)
合 計	205,650	193,870		収入の合計額と同額になります。

「予算額」欄には申請時の項目・額を記入する。

事業収入等がない場合は記載不要です。

消耗品費は1品あたり3万円未満

食糧費は、1人500円まで、かつ1事業あたり2万円までとなります。
(ただし、地域コミュニティ協議会は事業規模により上限額が変わります。)

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費等の事業収入又は寄附金等の収入（「事業収入等」）がある事業を実施する場合は、「事業収入等」を充当する「「事業収入等」の充当先」欄に「○」を記載してください。

記入例②

事業収入等がある場合

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

「予算額」欄には申請時の項目・額を記入する。

項 目	予算額	決算額	「事業収入等」の充当先	摘 要
報償費	60,000	60,000		講師からの領収書 講師謝礼 @30,000円×2人
旅費	20,000	20,040	○	JR発行の領収書 講師旅費 20,040円 (19,520円(東京～新潟 新幹線利用)+ 520円(新潟市内バス利用))
消耗品費	35,250	31,830		講師からの領収書 コピー用紙 @ 420×4組 = 1,680円 スタッフ名札 @ 315×10人 = 3,150円 パネル作成9枚 27,000円
印刷製本費	95,000	95,000		消耗品費は1品あたり3万円未満 講演会チラシ @ 10円×1,500枚 = 15,000円 ごみ減量化方法を記載したパンフレット @ 80円×1,000部 = 80,000円
通信費	800	0		支出なし
賃借料	9,000	9,000		会場使用料 7,000円 プロジェクター借上 2,000円
食糧費	15,600	18,000	○	飲み物 @ 120円×150人 (スタッフ, 講師分含む)
合 計	235,650	233,870		収入の合計額と同額になります。

食糧費は、1人500円まで、かつ1事業あたり2万円までとなります。
(ただし、地域コミュニティ協議会は事業規模により上限額が変わります。)

事業収入等がある場合は、収入を充当する項目に「○」をつけてください。(下記注参照)

- ※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。
- ※ 補助金収入以外に、参加費等の事業収入又は寄附金等の収入(「事業収入等」)がある事業を実施する場合は、「事業収入等」を充当する「「事業収入等」の充当先」欄に「○」を記載してください。

記入例

交付決定日以降の日付

口座振替申込書

●●年 ●月 ●日

(あて先) 新潟市会計管理者

住 所 新潟市〇〇区△-□

団 体 名 〇〇地区コミュニティ協議会

代表者氏名 新潟 一郎

新潟市から支払われる、新潟市地域活動補助金は、下記の金融機関の預金口座に振り替えてください。
記

フリガナ	〇	〇	チ	ク	コ	ミ	ユ	ニ	テ	イ	キ	ヨ	ウ	ギ	カ	イ	カ	イ					
	ケ	イ		カ	ン	キ	ヨ	ウ		タ	ロ	ウ											
口座名義	団体名・役職名・氏名 <u>〇〇地区コミュニティ協議会 会計 環境 太郎</u>																						
預金種別	振 込 先 金 融 機 関												口 座 番 号										
普 通	〇	△	銀行		信用金庫		農 協		△		□		本店		支店		0	0	7	7	7	7	7

※振替に使う口座は名義に団体の名称が含まれているものに限りです。

※口座名義及びフリガナの欄は、通帳に記載してあるとおりに正確に記入してください。

※名義人が補助金申請者(団体代表者)と異なる場合は、以下の委任状に記名が必要です。

口座名義人と代表者が異なる場合に記入が必要

委 任 状

上記の提出日と同じ日付

●●年 ●月 ●日

(あて先) 新潟市会計管理者

(委任者) 住 所 新潟市〇〇区△-□

団 体 名 〇〇地区コミュニティ協議会

代表者氏名 新潟 一郎

私は、下記の者を代理人と定め、新潟市地域活動補助金の受領を委任します。

記

(受任者) 住 所 新潟市〇〇区△-△

団 体 名 〇〇地区コミュニティ協議会

役職名・氏名 会計・環境 太郎